

# 05 震災に強い水道をめざして

## 震災対策

水道局では、地震発生後の混乱した状況にあっても、できる限り安定して水を供給することをめざしています。そのため、水道施設のネットワーク化や耐震化を進めるとともに、発災時には速やかに応急給水・応急復旧を実施するなど、総合的な震災対策に取り組んでいます。



### 給水・配水拠点整備

配水池は皆さまの飲み水を大量にためる施設であり、大地震が発生したときにも、市内への水の送り出しや、応急給水の水源として重要な拠点となるものです。水道局では、こうした配水池を市内にバランス良く配置することにより給水・配水拠点の整備に努めています。



### 信頼性の高いライフラインの形成

大阪市には、約5,200kmに及ぶ配水管が市内に網の目状にひろがっています。その中でも大動脈になる幹線をより緊密に連絡するとともに、震災直後の断水や水圧低下の影響範囲を最小限に止めるため配水管網のブロック化を進め、信頼性の高いライフラインの形成に取り組んでいます。

### 水道施設の耐震化

#### 浄水施設・配水管・停電対策

大地震においても、水道施設の被害をできるだけ少なくするためには、古くなった施設の更新や補強により耐震性を強化することが大切です。水道局では、浄水場や配水場などの施設や配水管を対象に、計画的な耐震化を進めています。

また、受電設備の耐震化や受電回線の複数化、自家発電設備の整備による送電停止対策など、安定的な電力確保に努めています。



柴島浄水場



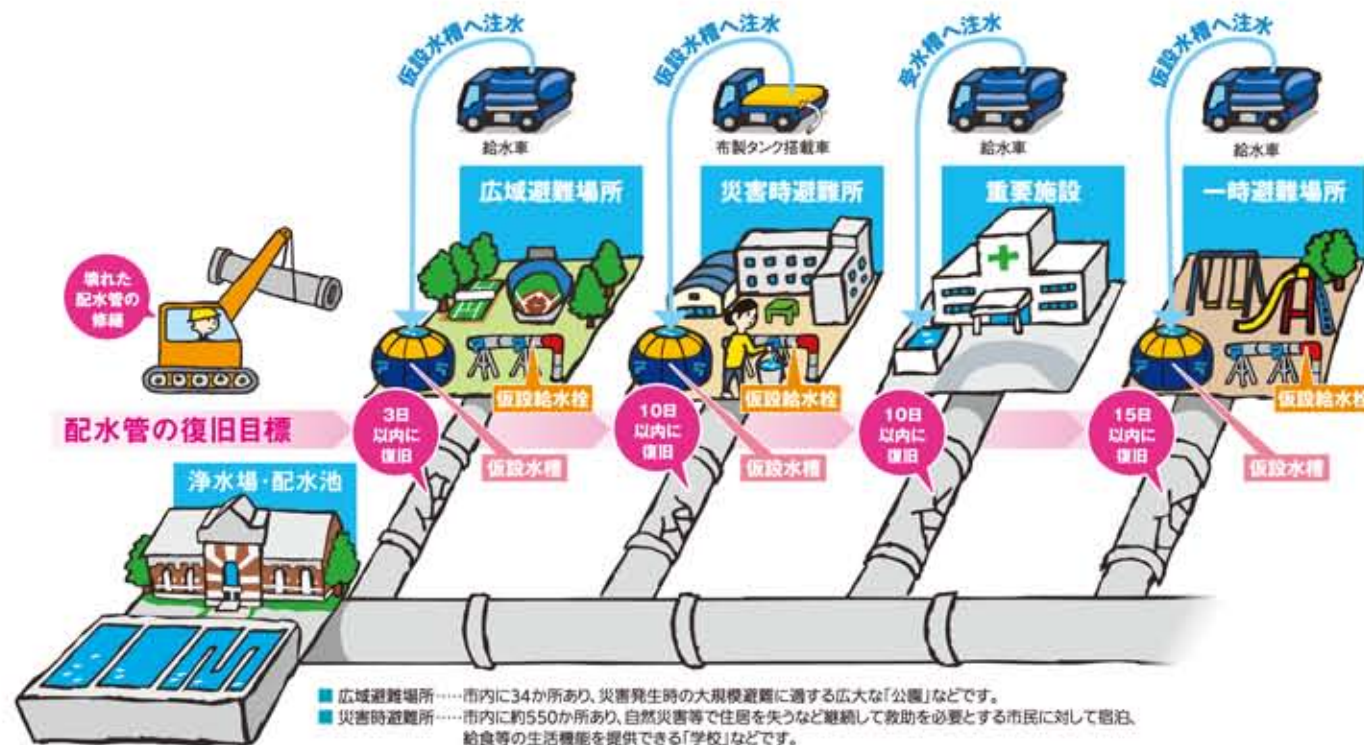
住吉配水場  
(施設運転用自家発電設備)

### 震災時の応急給水・応急復旧

大地震が発生したときには、応急給水(避難場所で水をお配りすること)や応急復旧(こわれた配水管を復旧させること)を迅速に行います。「広域避難場所」・「災害時避難所」・「一時避難場所」などの拠点に仮設水槽、仮設給水栓を置いて、被災された方々に水を配ります。また病院・社会福祉施設・公共施設などの「重要施設」には、給水車から受水槽へ直接注水を行います。

断水している拠点……… 仮設水槽 を設置します

断水していない拠点・復旧した拠点…… 応急的な蛇口(仮設給水栓)を設置します



### 応急対策の計画・訓練

このような災害時の応急対策を確実に実施するため、応急給水資材、復旧材料などを確保し運営する計画を立てています。また、発災を想定した応急給水・復旧の訓練や、図上型訓練、他都市との相互応援訓練を日頃から実施しています。



仮設水槽(4t)



仮設水槽(1t)



仮設給水栓



復旧材料



他都市との合同訓練